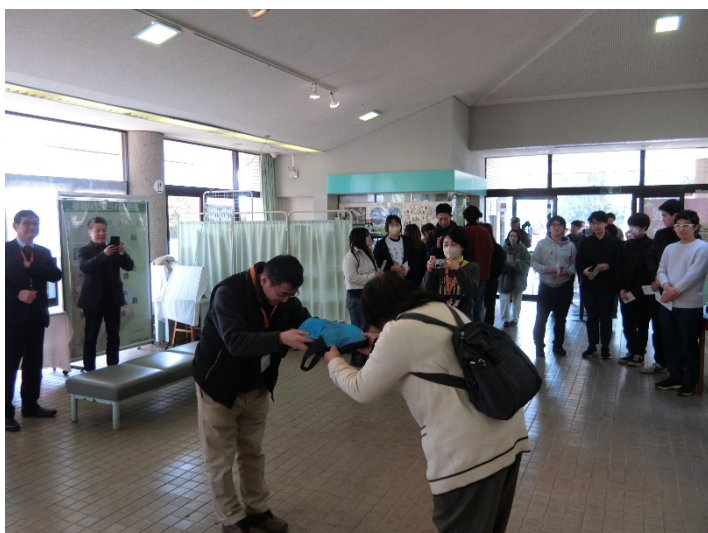


国立科学博物館筑波実験植物園と JAXA 筑波宇宙センターの見学会を開催

令和6年2月15日(木)、発生工学実践特別教育プログラムでは、つくば市にある国立科学博物館筑波実験植物園と JAXA 筑波宇宙センターへの見学会を開催し、学生および教職員あわせて70名が参加しました。

朝8時に大学を出発しましたが、交通渋滞のため筑波実験植物園には予定より1時間遅く到着しました。ところが、それが功を奏したのか、筑波実験植物園の入場10万人目が我々のグループとなりました。その場で記念式典が開かれ、植物園が出版した本などの豪華プレゼントを頂きました。



植物園の見学時間は短くなってしまいましたが、見たこともない巨大サボテンや食虫植物に驚きながら、植物の世界を堪能しました。



さらには絶滅危惧種に指定されている植物や、山地草原、砂礫地帯、水辺に生息する植物など、日頃なかなか見ることのできない植物を見学することができました。

世界の植物の多様性や生態保護の重要性に触れた後、今度は JAXA へ向かいました。

JAXA 筑波宇宙センターでは、広報担当者が我々のバスに乗り込み、JAXA 内を詳しく案内してくれました。施設内の見学では、これまでの宇宙飛行士全員の写真が載っている部屋や、マンガの宇宙兄弟で紹介されていた閉鎖環境の試験場を見ることが出来ました。中でも、テレビや映画でよく見る“宇宙ステーションとの交信を行っている管制室”は、そのすごさに圧倒されました。リアルタイムで宇宙ステーションの位置や、そこから撮影された地球が大画面のモニターに映し出され、JAXA のオペレーターたちが様々な（我々一般人には理解できない）対応をしていました。その部屋の写真撮影は禁止されていましたが、誰もが一生忘れないような印象深い経験が出来たと思います。

その後、JAXA 内にある展示場「スペースドーム」で自由見学をしました。これまで打ち上げられた人工衛星や、宇宙ステーションにある「きぼう」、日本が誇る H2A ロケットなどを見ることができ、宇宙が身近に感じられるとても素晴らしい展示場でした。



最後に JAXA の象徴となっている H2A ロケットの前で記念撮影をしてから大学に戻りました。誰もがとても有意義な 1 日を過ごせた見学会でした。

